

2021年 3月9日

核融合科学のこれから

学術研究と開発研究

吉田善章

異なる方向性と統合

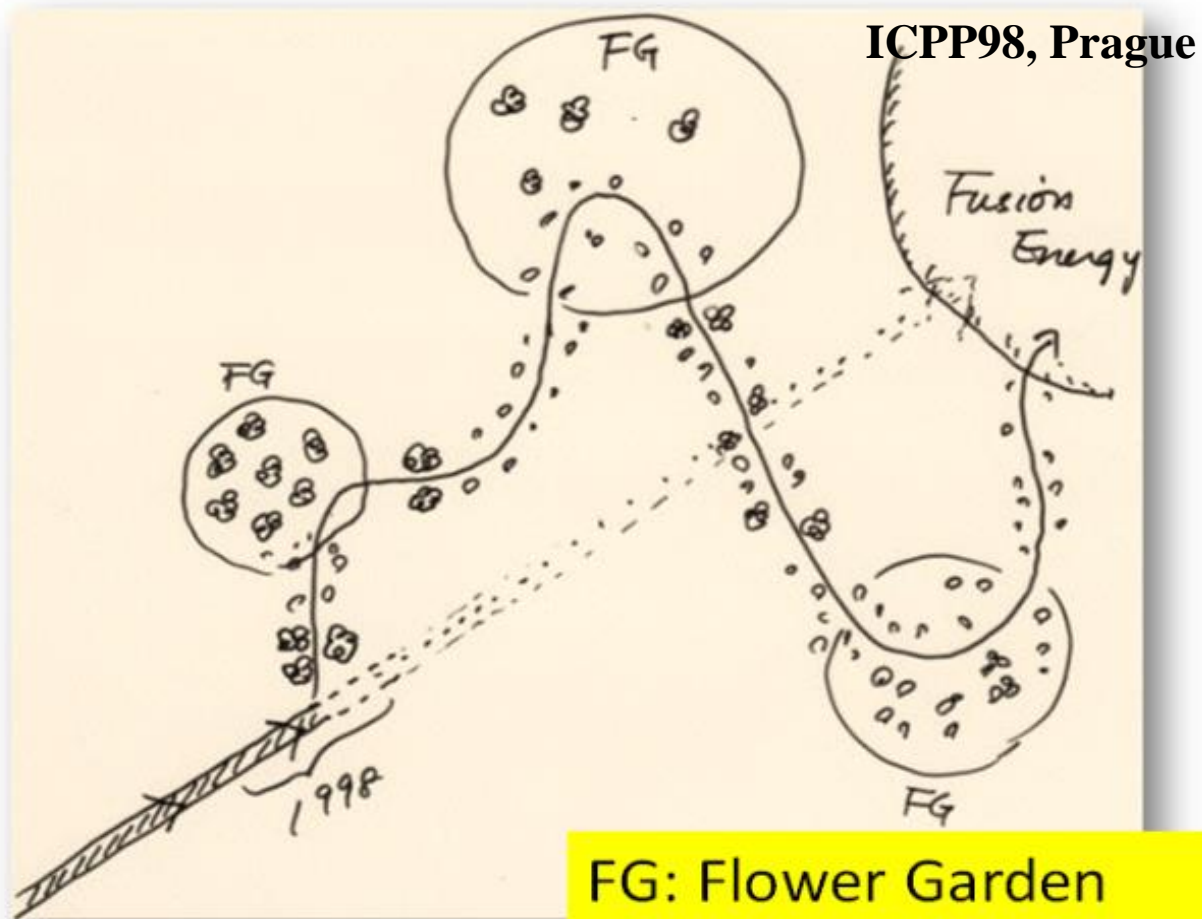
開発研究

選択と集中
科学→核融合

学術研究

一般化
核融合→科学

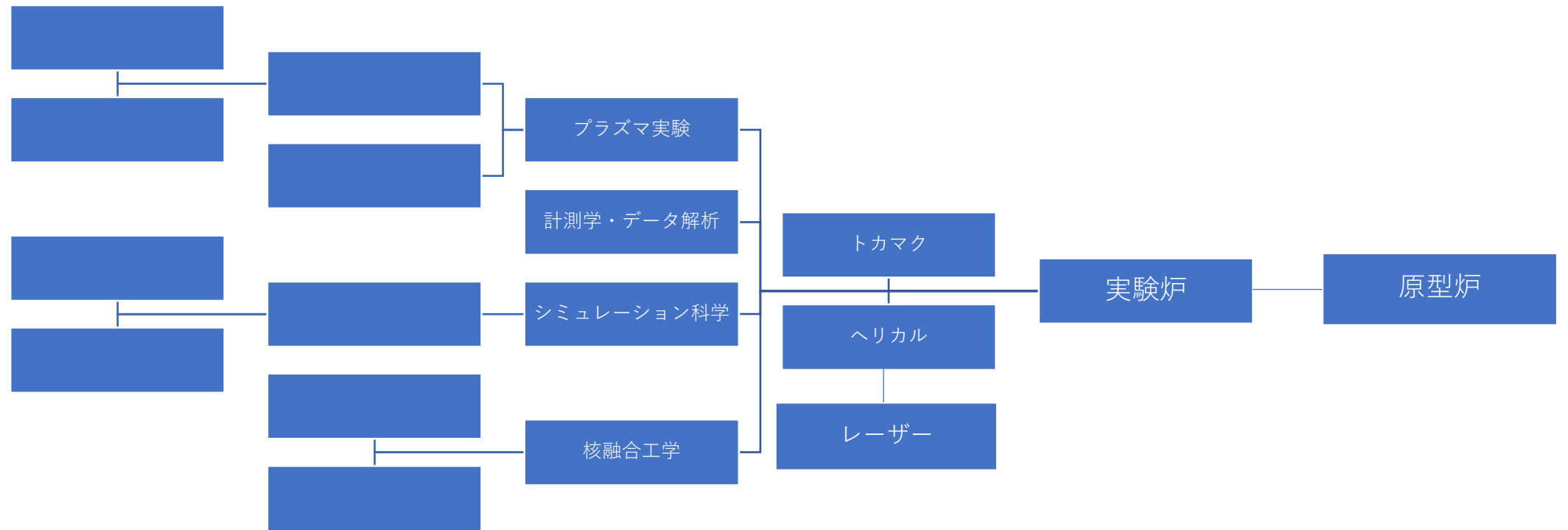
止揚 (aufheben)



My research strategy to aim at fusion energy at the stage of 1998. This is shown in panel discussion in final day of ICPP98 chaired by Rosenbluth.

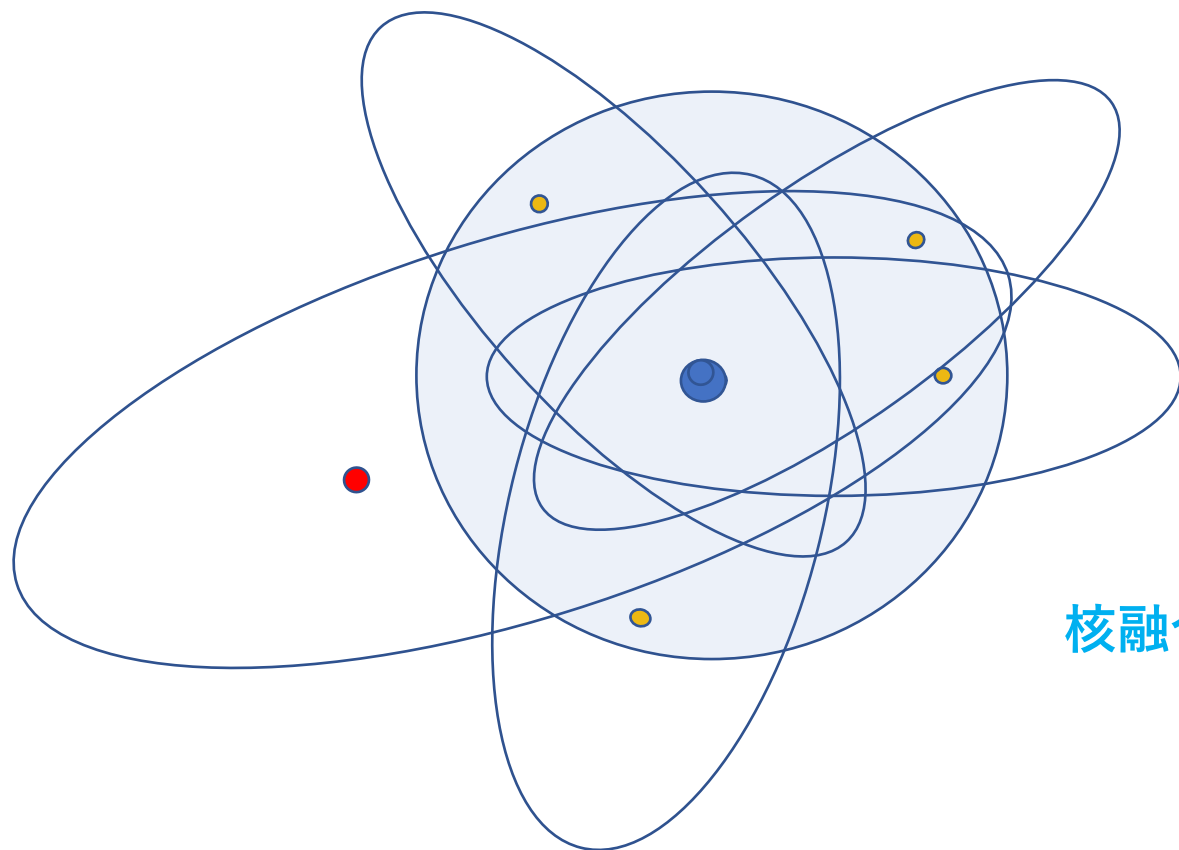
FG: Flower Garden
(Garden for Academia)

目的へ向かう「選択と集中」：開発研究



選択と集中 → 価値観の単一化

目的と方法をめぐる楕円運動：学術研究



入力・出力の反転

(input → output)

学術 → 核融合

核融合のチャレンジ → 学術の最先端

一般化 → 地平の拡大

学術研究としての進化

黎明期

成長期

成熟期

様々な方式のカンブリア爆発

熱核融合反応の実現

学術テーマの分節化

→ ダーウインイズム

→ 「そのもの」を作ってみる

→ 一般化

→ 新展開

